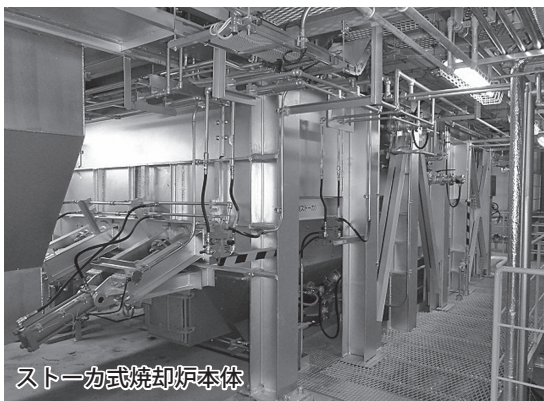


■民間事業者のノウハウを最大限活用します

「クリーンヒルこもろ」には貴重な税金が使われるため、効率的な施設運営が求められます。また、焼却炉などメーカー独自の技術による設備もあるため、技術に精通した者による長期的な維持管理も求められます。そこで「クリーンヒルこもろ」では、メーカーに施設的设计・建設・長期運営を一括して発注するDBO方式という方式を、県内のごみ処理施設で初めて導入しました。今後、市では日々の稼働データをチェックし、適切な運営がなされているか確

●ストーカ式焼却炉



ストーカ式焼却炉本体

施設では、ストーカ式焼却炉を採用しています。この炉は、ごみを850℃以上の高温で、2時間かけて完全燃焼させます。なお、異物（石・大型金属等）が入ると、故障の原因となりますので、異物は絶対に混ぜないでください。



炉内の様子



燃やすごみに混入された異物(石・スコップ等)

認していきます。

■地域とともに歩む施設をめざします

ごみ処理施設の建設と運営には、地域の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。そこで、建設地の選定から地域の皆さんに参加いただくため、平成20年10月に建設候補地を公募することから、「クリーンヒルこもろ」の建設事業は始まりました。そして公募の結果、8箇所から応募をいただき、平成22年3月に菱野区稲荷地区を建設地に決定しました。また、施設計画の策定にも地元の皆様の意見

を反映するため、地元菱野区の皆さんに「菱野区ごみ焼却施設検討委員会」を組織していただき、建設を進めてきました。今後も開かれた施設運営を行ない、地域とともに歩む施設をめざします。

■市民の皆さんの見学を待ちしています

「クリーンヒルこもろ」では、市民の皆さんの見学を随時受け付けます。管理棟2階には、最大60名まで収容できる研修室を備えていますので、団体での見学も可能です。ご希望される方は、生活環境課までご連絡ください。

平成28年
1月から

新しいごみの分別がスタート

分別説明会で出された質問を紹介します



質問 1

古布類のクッション、枕等について、「中の綿等を出して燃やすごみ指定袋へ入れる」とはどういうことですか？

【回答】 そのままの状態では燃えにくいいため、カバー等から中の綿等を取り出し、カバーと中の綿等をいずれも燃やすごみの指定袋に入れてお出しいただくということです。

質問 2

ごみ持込み票（クリーンヒルこもろへ持込む際に必要となる用紙）はどこで手に入りますか？

【回答】 「ごみカレンダー」に入っています。また、クリーンヒルこもろの受付や、市役所でもお渡しします。市のホームページからもダウンロードできます。コピーしての使用も可能です。

質問 3

ごみを持ち込む際に、指定袋に入れて持ち込むものにも処理手数料がかかるのはどうしてですか？

【回答】 ごみを持ち込む際には、受入れのために人件費や電気料金等がかかります。指定袋で負担いただく処理手数料は、焼却や埋立等の処理に係る手数料のため、受入れに係る手数料については別に負担いただきます。



市民用ごみ降ろし場

市民の皆さんは、専用の降ろし場で、ごみをまとめて降ろしていただきます。



圧縮梱包されたプラスチック製容器包装